

施設名： 国立病院機構 東京病院 / 課題名：在宅復帰率の向上

アウトカム(設定指標)	Plan		Do	Check		Assessment
最終目標	なにを	どのように	実施状況	確認日	達成状況	改善策
在宅復帰率向上 (緩和ケア病棟の在宅復帰率を15%以上とする) ※昨年からの継続指標	① 医療従事者へ在宅復帰率向上の必要性を理解させる	①-1 各種委員会等にて説明	実施中	11/20	100%	・地域医療連携運営委員会、病棟運営委員会において実施。 ・継続的な周知により、達成が不可欠であることの意識の植え付けが必要。
		①-2 幹部への定期的な報告	実施中	11/20	100%	・幹部会議において在宅復帰率の状況を報告。 ・緩和ケアチームの活動状況を報告。 ・未達成の場合、幹部による状況確認とアドバイスを行う。
	② 緩和ケア地域連携カンファレンスの開催	②-1 当院職員、連携機関の方からの講演の実施	実施中	11/20	100%	・緩和ケア地域連携カンファレンスを開催。 ・講演に基づいた質疑応答、意見交換を実施。 ・西東京ホスピス緩和ケア病棟連絡会に出席。
		②-2	▼選択してください	/	%	
	③ その他	③-1 連携医療機関訪問	実施中	11/20	100%	・病院幹部、地域連携室による連携医訪問を実施。 ・必要に応じて緩和ケアチームのメンバーも同行。 ・令和元年(11月末時点)は、22 機関に訪問。
		③-2 常勤の緩和ケア内科医の配置	実施中	11/20	100%	・今年度 1 名の緩和ケア内科医長を配置。 ・引き続き緩和ケア内科医師の確保ため募集を継続。

評価施設名： ○○病院 / 評価(訪問)日： 2019年 12月 16日

評価	① 優	② 優	② 優
総評	在宅復帰率向上のため、院内・院外、両面へのアプローチをされた。目標未達成の場合の、幹部に対する状況確認とアドバイスを実施したことが効果的な改善策となっており、病院全体で取り組んでいることがわかる。患者さんが安心して在宅へ移行していくためには、連携医療機関との連携も重要かつ不可欠であり、地域連携医療機関への訪問も、在宅復帰率の向上に繋がったと思われる。発表資料も PDCA サイクルが分かりやすくまとめられている。新設予定の緩和ケア病棟に期待しています。ご発表、ありがとうございました。		